

# 環境中期計画「エコ・アクションプラン2020」 2019年度環境活動と実績

## 木資源の活用

環境目的	中期目標(2020年)	2019年度目標	2019年度実施計画 (具体的な内容・方法等)	2019年度の実績
【資材調達】 合法伐採木材の調達を徹底し、持続可能な森林資源調達を推進します。	合法性に関する社内調達基準達成率100%の維持	資源調達ガイドラインの遵守 ・合法性の社内基準適合率の把握	①クリーンウッド法※事業者登録 ※「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」の通称 ②取引先への取扱いアイテム合法性証明書類の提出依頼	・クリーンウッド法に定める第2種登録木材関連事業者登録実施。 2019年6月登録完了。 ・取引先に対し「資材調達ガイドライン」に基づく合法性社内適合率の確認を行い、主要構造材において適合率100%を満たしていることを確認した。
		国産材の有効活用 ・構造材への利用率の向上	①国産材供給可能エリアの拡大 ②構造材における利用状況の把握	・九州エリア、関西エリアにおいて構造材(主にスタッド)における国産ランバーの利用促進を図った。
【資源の有効活用】 産業廃棄物のゼロエミッション化を目指します。	住宅のライフサイクルにおけるゼロエミッション化達成率100%	ライフサイクルゼロミッションの把握と向上 ・2020年度ライフサイクルゼロエミッション化達成率100%を目指し、各施策を推進。	①各拠点別に四半期毎の集計結果を社内開示 ②現場分別の徹底策を継続実施	・2019年度ライフサイクルゼロエミッション率:86%
		木質資源の再利用の状況把握と推進 ・2020年度マテリアル・リサイクル率90%を目指し、各施策を推進。	①マテリアルリサイクル業者(有価取引業者)の開拓を継続実施	・2019年度マテリアル・リサイクル率:82%
		産業廃棄物総排出量の削減 ・2020年度達成目標(2016年度排出量水準の維持)に向けて各施策の推進。(MHC工場) ・2020年度達成目標(棟あたり排出量を2015年度比20%削減)に向けて各施策を推進。(新築工事)	①産業処理業者からバイオマス処理業者等への転換推進。 ②再利用可能品の回収ルールの継続。 ③各拠点別に四半期毎の排出量の集計結果を社内開示。 ④造作材プレカット・省梱包化・養生材の再利用の検討と実施。 ⑤段ボール等の有価材取引業者の拡大を推進。 ⑥現場分別の徹底策の立案・実施。	・2019年度実績:3.3%増[基準年(2016)比] 増加の要因は外販受注物件における生産数増加による。 ・2019年度実績:5%削減[基準年(2015)比] 造作材プレカットにより一定の削減効果が見られたが、更なる削減のため2020年度より造作材省梱包化を開始。
		産業廃棄物最終処分量の削減 ・2020年度達成目標(棟あたり排出量を2015年度比20%削減)に向けて各施策を推進。(新築工事)	①各拠点別に四半期ごとの集計結果を社内開示。 ②分別の徹底と有価材取引業者の拡大。 ③リサイクルルート(中間処理場)の開拓によるリサイクル率の向上。	・2020年度目標達成に向け、中間処理場の新規採用によるリサイクルルート開拓の継続と研修・勉強会において分別再徹底の注意喚起を実施。

## 環境性能・価値の創出

環境目的	中期目標(2020年)	2019年度目標	2019年度実施計画 (具体的な内容・方法等)	2019年度の実績
【環境デザイン】 環境総合設計の実施を目指します。	環境設計ガイドラインに基づく環境設計提案の継続実施	環境設計の推進 ・環境設計ガイドラインシート活用推進	①環境設計ガイドラインシートの更新 ②運用手順の確立・試行実施	・建物とエクステリアのデザイン一体提案の業務フローを見直すと共に、提案率向上のための試行拠点を拡充。
		環境に配慮した生活スタイルの提案 ・エクステリア環境配慮提案『Smart Gardens』の普及推進	①『緑のエントランスを創る』植栽提案の推進 ・植栽提案のためのツール、フローを設定	・『植栽パッケージ提案リーフレット』を活用した提案の実施。 ・庭木のお手入れ方法「GREEN CARE HANDBOOK」配布による啓発活動の実施。 ・顧客向けセミナーの実施。
【住宅の省エネルギー】 居住時のCO <sub>2</sub> 削減を目指します。	専用住宅居住時のCO <sub>2</sub> 排出削減	2030年39%削減(2013年度比)に向けて居住時のエネルギー使用量削減対策の検証と実績値算出 ・エネルギー削減効果の把握 ・高断熱・省エネ・創エネ技術の普及状況の調査と目標に対する普及促進の検討	①「エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)Ver.2.2.1」(国立研究開発法人建築研究所 発行)に基づいた、高断熱・省エネルギー・創エネ設備の普及率によるエネルギー消費削減率調査。(2013年度比) ②ZEHビルダーのZEH普及目標に基づいたエネルギー削減率目標の立案 ③高効率設備のベストセレクション仕様設定による普及	・2019年度エネルギー消費削減率:31%(2013年度比) ・2019年度ZEH率:34%

## 住まいの長寿命化

環境目的	中期目標(2020年)	2019年度目標	2019年度実施計画 (具体的な内容・方法等)	2019年度の実績
【維持管理システム】 キープウェル住宅・60年間の定期点検とメンテナンス実施の普及を目指します。	長期優良住宅を含むキープウェル住宅オーナーへのメンテナンスプログラムの普及促進	メンテナンスプログラム普及率の向上 ・2019年度目標普及率92%	①長期優良住宅以外への対応のためメンテナンスプログラムを改訂 ②担当者向け勉強会の推進	・2019年度メンテナンスプログラム普及率:88%
		補修・点検システムの整備・推進	①各種研修等での教育訓練による意識付けとスキルアップを図る ②点検報告システムの整備とメンテナンス提案力の増強を図る	・業務研究会等実施し、計画達成のための分析・教育・管理方法の確認と情報共有を図った。

## 環境負荷の少ない企業活動

環境目的	中期目標(2020年)	2019年度目標	2019年度実施計画 (具体的な内容・方法等)	2019年度の実績
【事業活動による環境負荷の低減】	継続した省エネ活動の推進	オフィス、モデルハウス、工場等での省エネ推進 ・MHオフィス等削減率(2009年度比)10% ・MHC全工場削減率(2010年度比)10%	①オフィス・モデルハウス・工場等におけるエネルギー使用量の把握 ②不要照明の消灯・空調の適正運転・省エネ機器の導入	2019年度実績 ・MHオフィス等:33%削減 ・MHC全工場:14%削減
		自動車エネルギー使用量の削減 ・MH燃費改善(2014年度比)6% ・MHC燃費改善(2012年度比)10%	①燃料使用量および燃費計測の継続 ②社内通達による安全運転の啓発、削減活動の推進	2019年度実績 ・MH燃費改善率:17% ・MHC現場への輸送距離短縮による燃費改善率:14% ・MHC現場での荷降ろし待機時間削減による燃費改善率:10%
		・MHT燃費改善(2012年度比)10%	①工場から施工現場への構造材輸送距離短縮による燃料消費削減 ②施工現場での荷降ろし待機時間削減による燃料消費削減	・MHT燃費改善率31%
			①低燃費車(ハイブリット車等)の導入推進	

[略] MH:三井ホーム株式会社 MHC:三井ホームコンポーネント株式会社 MHT:三井ホームテクノス株式会社